

平成30年第3回川崎市議会定例会

請願陳情文書表

(その2)

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
49	30. 9. 19	相次ぐ落下事故を踏まえ、住宅地と石油コンビナート上空を低空飛行させる危険な羽田空港新飛行ルート案の撤回を求める意見書提出を求める請願	川崎区 羽田増便による低空飛行ルートに反対する川崎区民の会 ほか 1,940名	片 柳 進	住宅地と臨海部石油コンビナート上空を低空飛行させる危険な羽田空港新飛行ルート案を撤回するように、国に対して意見書を提出してください。	まちづくり 委員会
50	30. 10. 4	公的年金の毎月支給を求める意見書を国に提出することに関する請願	川崎区 全日本年金者組合川崎市支部協議会	石 田 和 子	公的年金の支給について、現行の2か月支給を毎月支給に改めるよう、国へ意見書を提出することを求めます。	健康福祉 委員会

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
5 1	30. 10. 9	横浜市営地下鉄3号線の延伸に伴う中間駅の設置に関する請願	麻生区 一般社団法人白山まちづくり協議会 ほか 5, 139名	山 崎 直 史 雨 笠 裕 治 勝 又 光 江 花 輪 孝 一 月 本 琢 也	横浜市営地下鉄3号線の新百合ヶ丘駅までの延伸計画について、高齢化が進む私たち麻生区白山地域の活性化や住民の生活環境の向上を図り、地域に設立された日本映画大学の学生並びに教職員の通勤・通学の利便性向上のために、白山地域に中間駅の設置をしていただきたくお願いいたします。	まちづくり 委員会
5 2	30. 10. 11	小田急線（向ヶ丘遊園駅―新百合ヶ丘駅間）の地下2層化・複々線化を求める請願	多摩区 小田急線複々線・地下2層化をすすめる会 ほか 778名	露 木 明 美 井 口 真 美 佐 野 仁 昭 月 本 琢 也 添 田 勝 三 宅 隆 介	小田急沿線の住宅開発に伴う利用者の増加により、大変な混雑が続き、開かずの踏切はまちを分断し、生活に支障を来しています。 本市は小田急電鉄（株）と包括連携協定を結び、小田急沿線のまちづくりを協力して行うことを申し合わせました。 このため、市は小田急電鉄（株）と、向ヶ丘遊園駅―新百合ヶ丘駅間の地下2層化による複々線化の事業を進めるための協議を始めることを求めます。	まちづくり 委員会

陳 情 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
128	30. 9. 21	川崎区大師河原地区の 住環境改善に関する陳 情	川崎区 グレースィティ川崎大 師河原管理組合	当マンションの東側には産業道路と首都高速神奈川1号横羽線、北側には国道409号と非常に交通量の多い幹線道路に囲まれています。このため、居住者から「すす」についての苦情や対策を求める意見が多数出されています。また、近隣に大規模な工場が多く、多摩川も近いことから「異臭・悪臭」についても対策を求める意見が多数寄せられています。つきましては、本市においても住環境の改善に向けて、「すす」、「異臭・悪臭」などに対する具体的な対策をお願いいたします。 もう一点は、平成29年3月28日に陳情し、継続審査となっている「陳情第85号 市道大師河原4号線から産業道路にいたる箇所への歩道設置に関する陳情」について、その後の対応状況を明らかにされるとともに、川崎市都市計画（産業道路駅前地区計画）について、現在の概要を明らかにされますようお願いいたします。	環境委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
129	30. 10. 1	武蔵小杉の超高層マンション建設見直しについての陳情	中原区 小杉・丸子まちづくりの会 ほか 2,217名	1 武蔵小杉駅利用者の安全を確保するため、ホームドアを最優先で設置し、駅混雑の抜本的な対策として横須賀線に新ホームを増設してください。 2 保育園に希望者全員が入所できるよう、園庭のある認可保育園を増設してください。 3 ビル風と複合日陰で市民生活に支障が起きないよう対策を行ってください。 4 人口減少＝住宅過剰時代を見据え、超高層建設のまちづくりを見直してください。	まちづくり 委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
130	30. 10. 10	川崎市に公害の歴史と 教訓を次世代に伝える 施設をつくることを求 める陳情	多摩区 在住者 ほか 770名	全国の公害を経験した他都市では、公害を二度と繰り返さないために、当時の出来事や対策を学び、今を知るための資料館を開設しています。しかし、今の本市には川崎の公害について学ぶことができる施設がなく、新しく移り住んだ市民や子どもたちは、どこに行ったらそれらの資料があるのか知ることができません。 川崎で起こった公害に対しての取組の足跡を未来に伝え、これからの環境保全に生かしたいという思いは、本市も同じではないでしょうか。「公害を二度と繰り返さない」という市民の思いを次世代に伝え、他地域ともつながり、世界に発信していけるように、以下の項目について陳情いたします。 1 本市に公害の歴史と教訓を次世代に伝える施設をつくること 2 施設・展示内容等には、広く市民の意見を聞く場を設けて検討すること	環境委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
131	30. 10. 11	都市計画道路横浜生田線、水沢工区の現行道路整備プログラムのスケジュールによる供用開始を求める陳情	宮前区 在住者	都市計画道路横浜生田線、水沢工区については、現行の道路整備プログラムにおいて、整備推進路線として記述され「平成33年度に完成」と工期が示されています。 ところが、横浜市側の市民の皆さんとの理解を得る取組は、横浜市の職員と連携しながら進めてこられたとお聞きしておりますが、未だ厳しい状況と側聞するところです。 これらの現状では、道路整備プログラムの「平成33年度に完成」との工期が実現できるのか、大変懸念しております。 この道路整備プログラムのスケジュールによる供用開始を是非ともお願いいたします。	まちづくり 委員会